

## 福祉サービス第三者評価結果（総括表）

### ① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ
-------------

### ② 施設・事業所情報

名称：空色の庭	種別：短期入所
代表者氏名：副施設長 岩下 裕寛	定員（利用人数）： 24名
所在地：〒 305-0061 茨城県つくば市稲荷前30-11	
TEL：029-846-0035	ホームページ：https://www.tokyo-sola.com/
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日 令和3年2月1日	
経営法人・設置法人（法人名等）：東京空色株式会社	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員： 6名
専門職員	看護師 1名
施設・設備の概要	（居室数）24室 （設備等）

### ③理念・基本方針

<p>1. 経営理念 日本に暮らす障がいをお持ちの方々を幸せにする。</p> <p>2. 行動指針 正しく、仲良く、楽しく。</p> <p>3. CS向上方針</p> <p>①顧客を正しく知る事 ②顧客の安心につながるサービスを提供する事 ③顧客と周辺関係者との対話を常に深化させる事</p> <p>4. ES向上方針</p> <p>①経営は人材育成と組織づくりにコミットする事 ②従業員とその家族の安心につながる仕組みを構築する事 ③コンプライアンス（法令遵守）を徹底する事</p> <p>5. 虐待防止の取組み 障害者虐待防止法に基づき、当社、当施設では、職員の研修の実施、利用者様やそのご家族からの苦情解決のための体制整備、その他の障害者虐待防止のための措置を講じていきます。</p>
---

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

自立生活、地域生活むけたステップ（階段）を細かく刻み、着実にステップアップできる環境を用意しています。まずはショートステイで状況の把握と生活訓練を行い、ご利用者様や保護者様が安心してグループホーム生活を始められるように支援を行っていきます。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 5年 10月 23日（契約日）～ 令和 5年 12月 7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

##### **事業の方向性を明確にし、職員への周知を図る仕組みが整っている**

・法人では全体会や職員会議を通じて、現場の課題の洗い出しを行い、解決策の検討・実施を行うなど、業務の効率化と改善活動に積極的に取り組んでいる。また、幹部合宿研修などを通じて福祉を取り巻く環境の把握を行い、取り組むべき課題の洗い出しと対応の方向性が話し合わせ、法人や施設の進むべき方向性が導き出されている。さらに、第三者評価による外部評価を活用し、課題の把握に取り組んでおり、法人全体を通してPDCAサイクルを活用した組織的な取り組みが行われている。

##### **地域生活に移行することを目指せるようにしている**

・施設では「地域生活に向けたステップアッププログラム」を策定しており、地域生活に移行することを目指せるようにしている。長期間利用が中心になっていることから、法人内に「グループホーム」をはじめ、「就労継続支援B型」、「就労移行支援」、「生活介護事業所」などを立ち上げて、「自分を整える」、「生活を整える」、「自立生活を始める」、「地域生活を始める」、「地域生活を継続する」の5段階を具体的に支援できるようにしている。

◇改善を求められる点

##### **事業計画の進捗状況や達成度合いの評価をさらに明確にすることが望まれる**

・法人として中・長期計画を策定しており、「利用者数及び支援内容において業界一の規模と質の障がい者支援施設」になることを目指している。中・長期計画を踏まえて、事業計画は実現可能性を考慮し、数値目標等を設定し策定している。さらに、毎月、役員会を開催し、必要に応じて見直しを行い、中・長期的なビジョンを明確にした目標および計画を策定している。ただし、各指標の定量化が十分でないため、計画の進捗状況や達成度合いを評価かできるかどうかについて課題が残る。

#### **利用者家族との連携を深める機会を充実させたい**

・施設ではレクレーションを土日に開催するなどによって、バランスの取れた生活環境作りに取り組んでいる。ただし、利用対象者は「知的障がい、精神障がい」であり、また家族や関係機関との面談を通じての意向や要望の把握は物理的に難しい環境にある。よって、利用者参画の下での向上検討会議などを開催したり、施設長やサービス管理責任者などが参加して、家族など各種会合をリモートで開催するなど、利用者・家族などの意見・要望を確認する取り組みづくりが望まれる。

#### **地域の関係機関との連携を、さらに深めることが望まれる**

・つくば市には、自立生活センター、自立支援協議会等の行政機関があり、知的障害者スポーツ支援団体「スポーティア」など豊富に社会資源を活用することが出来る。市の福祉サービス事業所連絡会や自立支援協議会などへの定期的な参加は行っていない。施設では「地域生活に向けたステップアッププログラム」を策定していることを踏まえ、可能な範囲で地元関係機関などとの連携が適切に行われることが望まれる。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価を通じて「空色の庭」が目指していることは、着実に具現化されつつあることが確認できたと感じております。

いただいた課題については、事業所として職員と共有し改善につなげていきたいと考えます。今後も、利用者様ご家族との連携を深め、地域や関係機関との連携を図りながらサービスの向上に努めていく所存です。

#### ⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）